

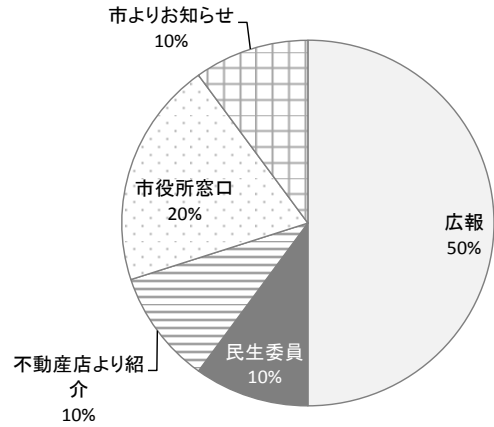
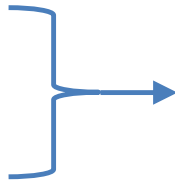
I 相談会概要

■内容

別紙、チラシ参照

■周知方法

- ・民生委員へチラシ配布
- ・各地域福祉推進委員会へチラシ配布
- ・地域包括支援センターへチラシ配布
- ・多摩市公式ホームページによる周知
- ・たま広報による周知(12/5号)
- ・庁内関係課へチラシ配布・窓口設置



■設置相談ブース

種類	協力機関	対応人員
①民間賃貸住宅	(公社)東京都宅地建物取引業協会南多摩支部	2名
②民間賃貸住宅	(公社)全日本不動産協会東京都本部多摩南支部	2名
③公的賃貸住宅	UR都市機構	2名
④公的賃貸住宅	東京都住宅供給公社(JKK)	3名
⑤福祉制度等	多摩市社会福祉協議会	1名
⑥受付等	多摩市	7名

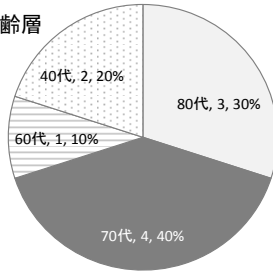
II 相談者概要

①相談者概要・属性

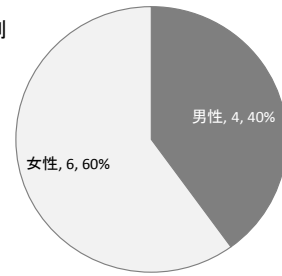
■来場者数等

- ・申込者数 10名
- ・予約者数 10名
- ・当日来場者数 10名
- ➡当日欠席 0名
- ➡当日申込み なし

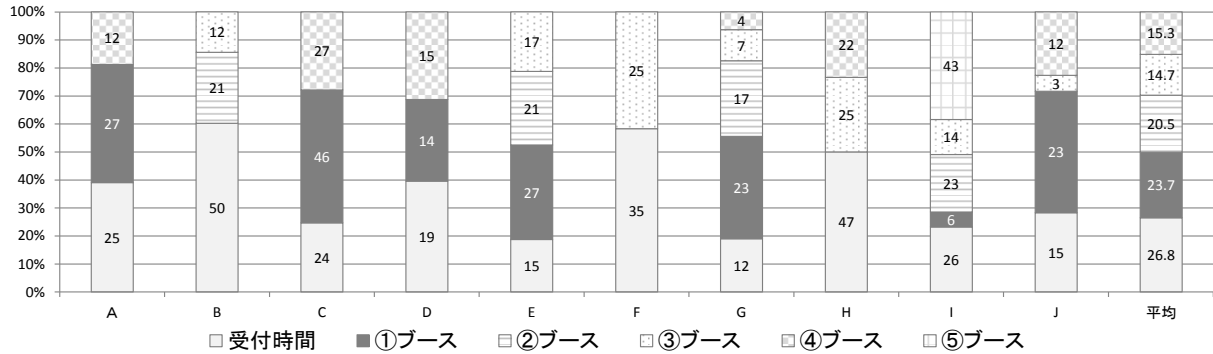
■年齢層



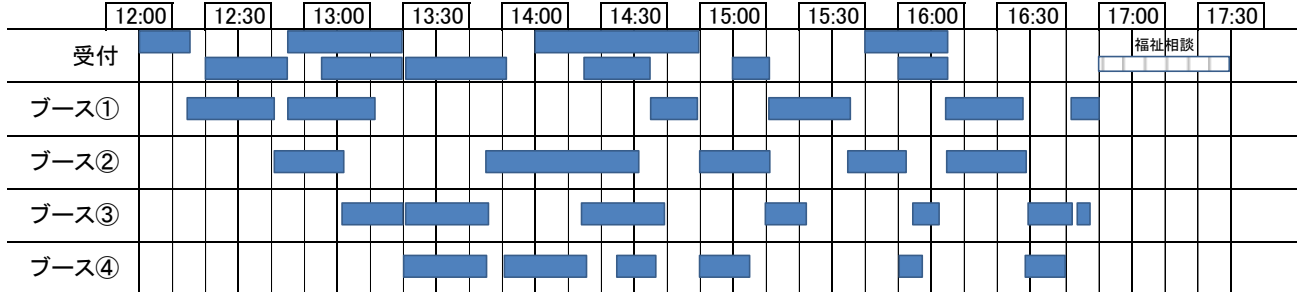
■性別



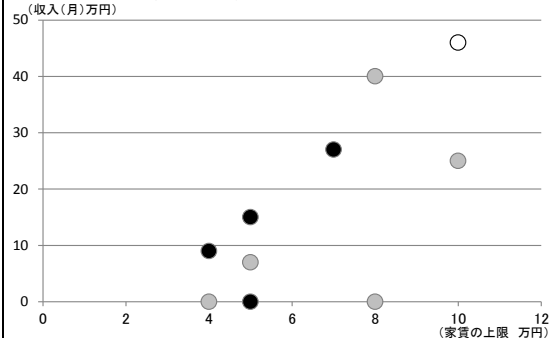
■各相談時間・平均相談時間(分)



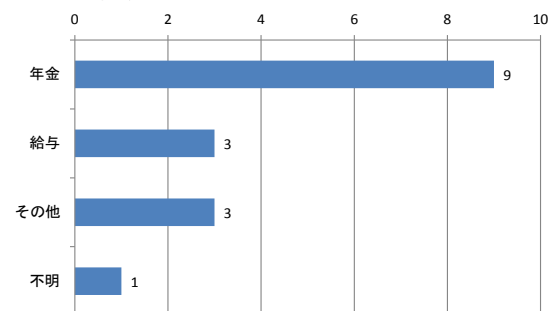
■各セッションの稼働時間



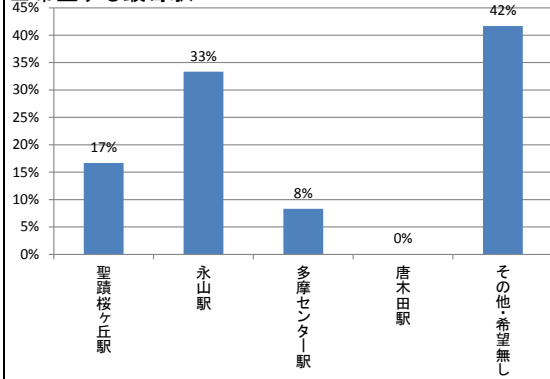
■各相談者 支払える家賃上限及び収入(月収)との関係



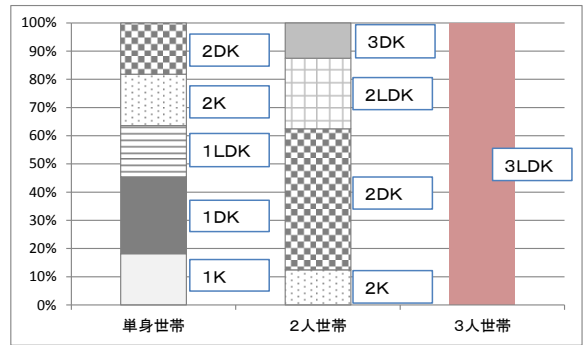
■収入の種類



### ■希望する最寄駅



### ■世帯人員と希望する間取り



### ②主な相談概要

- ▶ 今の家賃より安い住宅に住みたい
- ▶ 今より広い住宅が良い
- ▶ 公的賃貸を希望している
- ▶ 近隣トラブルを回避したい
- ▶ 公営住宅に当たらない
- ▶ 低層階が良い
- ▶ 将来を見据えて相談したい
- ▶ やむを得ない事情で引っ越さなくてはならない
- ▶ 高齢のためなかなか見つからない

### Ⅲ 結果の分析

#### ■相談者の主な傾向

- ・来場者の男女比は4(男性):6(女性)
- ・60代以上の高齢者が80%を占めている。(前回は75%)
- ・公営住宅の所得基準内の方が約30%であった。※口頭で確認した概ねの月収又は年収のため推測。不明の方は除く。
- ・2人(夫婦または親と子)での住まい探しが最多(50%)で、希望する間取りは2K~3DKであった。
- ・希望する最寄駅は、「その他・希望無し」が最多。次いで「永山駅」「聖蹟桜ヶ丘」「多摩センター駅」の順。

#### ■課題 (①~③については前回と同様)

- ①より詳細なヒアリング。例えば、収入状況について、実際の生活費としては現実的には厳しいと考えられる回答や受付の段階で回答を敬遠する方もいたため、聴き方の工夫が必要。
- ②受付での交通整理。今回は、申込みの段階及び受付で収入状況を伺った結果、賃貸を借りることが難しいと考えられる場合は、相談しても期待した回答が得られない可能性を説明した上で、相談を希望する場合は、相談ブースへご案内。また、同時に福祉制度(生活困窮者自立支援制度、生活保護制度)の説明を行い、市役所への相談も案内。
- ③紹介できる物件がなかった場合のフォローが必要。例えば、希望条件の変更などを促す。
- ④相談会の効率性の向上

### Ⅳ 当日の会場の様子



会場前面



受付状況



相談ブース



相談状況